



生活者ネットワーク 国分寺市議会議員 TAKE FREE

マサーヨがゆく vol. 13

日々の暮らしと政治はつながっています。これは、マサーヨこと小坂まさ代が、市政のことをより身近に感じていただけたらとの思いをこめて、仲間たちと作ったレポートです。ひとりひとりが自分らしく生きていける社会にしていけるために、あなたの声を聞かせてください。



Instagramもぜひご覧ください @masayokosaka



今回は、よりみちことりさんにおじゃまします！

春休みだよ！ 出張！マサーヨがゆく

2026/3/26 (木) 13:00~19:00

2026/4/29 (祝) 13:00~19:00

どなたでも大歓迎！ご予約不要！

おとなも子どもおしゃべりしにお立ち寄りください♪

「Let's Talk Card」というカードゲームで遊びながら語り合う

“今自分にとって大切なこと” 同時開催！

@よりみちことり 国分寺市東元町2-18-16

自転車置き場あります。国分寺駅南口徒歩7分



『あたし、ねむれないの』 借成社 作：カイ・ベックマン 絵：ペール・ベックマン

夜寝る前に娘にねだられ、暗記してしまうほど何度も何度も繰り返し読んだ絵本。最初は「じぶんでとってきなさい！」と突き放す母が最後には「あらあら、大変」とおもちゃを片付けてあげる様子に、いざという時にはさっと手を差し伸べられる、こんな母でありたいと思いました。絵のタッチも大好きです。

小坂まさ代 暮らしのエッセイ

「めぐる季節、まきつづける種」



保育園でのおはなし会をはじめたのは、長女が年中のときだった。二度目の育休中にも毎週のように通っていた近所にある家庭文庫のお話し会。仕事に復帰すると、行けなくなった。ならば、保育園にお話しの出前に来てもらえないだろうか——図々しくもそう思いついたのがきっかけだった。

文庫でのお話し会だけではなく、すでに多くの学校や学童にお話しを届けていたのでも、新たな場に来ていただくのは難しいと思っていた。しかし、気持ちは止まらず、思い切ってお話ししてみたところ「前から保育園でやってみたいと思っていたのよ！ぜひやりたいわ」と二つ返事で引き受けてくださった。当時の園長先生にも快諾いただいた。そして、私も読み手として加わるようになった。

初めてのお話し会では、声は上ずるわ読み間違えるわで散々だったのだが、「顔見知りのお母さんがいたから、はじめから子どもたちもすんなり受け入れてくれて、とてもやりやすかったわ」と先輩方に言っていただき、ほっと心が緩んだ。絵本は好きでも子どもが苦手だった私に「次はもっと楽しませたい」と思わせる子どもたちの力に驚かされた。

それから14年。これまで続けてきたなかでも忘れがたいのは次女が卒園する前の最後のお話し会だ。最初の挨拶で子どもたちの顔を見渡し「もう、この子たちにこの場所で語る日は今日が最後なのだ」と思った瞬間、思わず涙が落ちた。

「泣くのはまだ早いよ」と先輩に優しく耳打ちされ、なんとか気持ちを立て直した。長年ご自宅で家庭文庫を開いているSさんのこの日の語りは「ブドリーネク」16分にも及ぶチェコの昔話だった。集中力を切らさず最後までお話しの世界にどっぷり浸かる6歳児を目の当たりにし、今しかない今を生きてとはこういうことなのかと知り合った。

先日、今年度最後のお話し会に参加し、あの日と同じ部屋で紙芝居を読んできた。子どもたちのまっすくなまざしに、幼かった娘の姿が重なる。今も保育園と関わり続けていられること、小さな子どもたちと会える場があることを、とても幸せに思っている。きらきらした目と素直な笑い声に包まれると、こちらの心も澄んでいくように感じられる。

私は、ずっと読み続けていく。まかれた種は、いつかきつと芽を出し、生きる力につながっていくと信じている。

小坂まさ代 国分寺での暮らし

第一子の妊娠中、壁一面作り付けの本棚のある古いアパートと出会い、縁もゆかりもなかった国分寺に転居。ふたりの娘に親として育てられている。2021夏、生活者ネットワークから市議補選に立候補し当選。2023春の市議選で再選。現在2期目。国分寺をより暮らしやすいまちにしたいと、子どもを含めた市民の声を市に届け続けている。泉町在住。

生活者ネットワークの活動

市民による市民のための政治団体です。国分寺では約40年に渡って活動しています。現在、3人の市議会議員（高瀬かおる、小坂まさ代、松岡まり）と都議会議員（岩永やす代）が市政と都政連携して活動中。お話し会、調査活動、学習会など楽しい活動がたくさん！お気軽にのぞいてみてください。



? おしえてマサーヨ / 代表質問ってなあに? ?

市長が最初の議会で示す「施政方針」※に対して、各会派の代表が行う質問のことだよ。国分寺市議会では毎年2月の日曜議会で行われるんだ。今年は2/22に行われ、マサーヨが質問したよ！ (※次年度の市政運営の基本姿勢と取り組むべき重点方針)

令和8年度 施政方針



代表質問の 録画配信



2026 国分寺・生活者ネットワークの代表質問より



市長はよく「経営」という言葉を使っていますね。私は、経営とは、今あるみんなの力を大切に使い、次の世代へよりよい社会をつないでいくことだと思います。困っている人を助けたり、地域のつながりを育てたり、子どもたちの学びを支えたりすることは、すぐには数字で見えなくても、まちの土台を育てる大切な取組です。市長の考える「経営」とは、どのようなものですか。



「経営」とは数字だけを見るものではなく、ぬくもりを大切にすることだと思っています。まちづくりの主役は「人」です。人が成長できる環境をつくるのが大切です。限られたお金をどこに使えば、みんなが幸せになるのか。その問いに向き合い続けることが、私の考える経営です。



これからも暮らしやすいまちにするために、みんなの声を届けていくのでよろしくお願いします！

● 並木公民館と図書館の改修工事について



公民館が10月から1年半も閉まると、地域の人の居場所や活動の場がなくなってしまいます。代替りの場所を用意できませんか？



新しい施設をつくるのは難しいのですが、ほかの公共施設や学校をつかって活動が続けられるよう工夫しますね。



図書館の本はどうなりますか？



並木図書館の本は適切な場所に保管するためすぐに出し入れはできません。リクエストについては借用で対応します。学校への貸し出しについては冊数を増やしたり期間を長くしたりします。障害のある方への本の郵送サービスは続けます。返却用のブックポストも設置します。

生活者ネットワークこくぶんじ No.187 小坂まさ代の活動を紹介します

発行日：2026年3月25日 発行：国分寺・生活者ネットワーク 発行責任者：田中由紀

〒185-0024 国分寺市泉町3-33-16 西国分寺ハイツ103 TEL: 042-328-1864

FAX: 042-328-1878 ☑ kokubunji@seikatsusha.net https://kokubunji.seikatsusha.me